

雨の季節も心豊かに

大きく育て！

園内にある小さな田んぼは、この庭園を完成させた水戸徳川家二代藩主・光圀(みつくに)が、京都の公家から嫁いだ三代藩主・綱條(つなえだ)の夫人に農業や米作りの大変さを教えるために造ったもの。

現在では、文京区立柳町小学校のみなさんが、田植え、案山子(かかし)作り、稲刈りなどを体験学習しています。

5月上旬、今年も田植え作業が行われました。



田植えが終わって約一ヶ月が経ち、頼りなかった小さな苗も、だいぶ大きくなっています。

「米」の字を分解すると“八十八”。これは、種まき田おこし、田植えなど、米作りにかかる手間の数とも、米を守る神さまの数ともいわれています。

縁起の良い末広がり、二つの“八”に守られて、今年もグングンと育ちますように。

小廬山(しょうろざん)観察記①

《五月中旬・刈取直後の様子》



西門から庭園に入ると左側に見える小山は「小廬山(しょうろざん)」と呼ばれています。通常は、全体が比較的背の低い“オカメザサ”で覆われています。

毎年、この小山の景色を維持するために、ササを一定の高さに刈る作業を行っています。しかし、それを続けることにより、刈り残した部分が固くなり、また、山全体が黄色っぽくなってしまいます。

そこで、今回は地際まで刈込む作業を3年ぶりに行いました。株元まで太陽の光や風が入り込み、新しい葉の出芽を促します。やがて、世代交代する瑞々しい緑色の葉が、美しい景観を維持してくれます。

上の写真は5月中旬、刈込直後の様子。これから出筈・成長し、3カ月程で以前の景観に戻る見込みです。

山の姿が変化する様子も、観察してみませんか？



雨の季節になりましたね。大きな石、ごつごつした石、ツヤツヤな石などなど、園内の景色にはたくさんの石も欠かせません。雨上がり、水分を含んだ石は色や模様がくっきりと浮かび上がり、普段とは少し違った表情を見せてくれます。滑りにくいお履き物で、新しい発見をしてみませんか。

さて、内庭(東門・東京ドーム側)の池では、水面をスイレン(睡蓮)の白い花が彩っています。庭師の手入れにより、美しい景観をご覧いただいています。早起きのスイレンは、お昼を過ぎると閉じてしまう花もありますので、午前中にお越しくださることをお勧めします。

6月になり、曇りでも雨が降っていても、気温が高くなっています。散策される際は、お飲み物、帽子や日傘もご用意ください。

雨の季節も、心豊かなお時間を。

“美しい流れ”のために

園内西側の「大堰川(おおいがわ)」、紅葉林脇の「龍田川(たつたがわ)」、そして「白糸の滝」前など本園には、水底の砂粒まで見えるきれいな水の浅く緩い流れがいくつかあります。

気温が上がるこれからは、水の汚れも目立つようになります。当園では約2週間ごとに、河床清掃作業を行い、水辺の景観を保っています。

この日は朝から「大堰川」の清掃。水の中に生えた藻を、庭師たちが手で丁寧に取り除いていました。ある時は、デッキブラシで石を洗ったり、また別の時には、熊手を使って水中の落葉を集めたり。水辺を美しく整えるために、庭師たちは、あの手この手を使い作業を進めます。

散策時、もしお時間に余裕がありましたら、少し足を止めて、作業の様子もご覧ください。みるみる美しくなる景色が、気分をワクワクさせてくれますよ。



通天橋の掛替工事が始まり、大堰川の奥にも柵を設置し(写真・庭師の後方)、沢渡には仮通路を設置しています。工事の終了まで、みなさまには、ご理解とご協力をお願いいたします。

かわら版

小石川後楽園

第171号

令和7年
6月10日
発行

お得な年間パスポート

- 小石川後楽園用●
- 一般:1,200円
- 65歳以上:600円
- 都立9庭園用
- 一般:4,000円
- 65歳以上:2,000円

定例庭園ガイドツアー
は土・日・月・祝日の
11時・14時。英語
ガイドツアーは土曜日
10時30分より。

X (旧 Twitter) @korakuenGarden



HP「公園へ行こう！」



9庭園インスタグラム



かわら版についてのお問い合わせは

小石川後楽園サービスセンター 03(3811)3015

広報係(協会の事業全般に関するお問い合わせ) TEL 03(3232)3011 ※8:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除く) 指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会